※令和４年度以降入学生用

学校番号	3035

令和５年度　公民科

教科	公民	科目	公共	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	矢野智司ほか『新版 公共』（数研出版）						
副教材等	第一学習社編集部(編)『最新公共資料集』 数研出版編集部（編）『教科書準拠版　新版 公共 整理ノート』						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「社会」は様々な，そしてたくさんの「人間」が集まってできています。私たちも皆さんもその一人であり，そのことはふつう「社会」の一員であると言われます。「公共」の授業では，これら「社会」と「人間」についてそれぞれ深く理解したり，理解することで見えてくる様々な課題の解決を目指したりすることで，「社会」の一員とはどのような存在であるか，ということに迫ります。そのためにも，たくさん本を読みましょう。よく新聞やニュースをチェックしましょう。そして，教科書を隅から隅まできちんと理解しましょう。

２　学習の到達目標

・現代の日本「社会」や国際「社会」とその中を主体的に生きる「人間」のそれぞれに関する理論や概念について，教科書や資料集など様々な資料を読み解き，日常生活と関連づけて理解する。
・現代の様々な「社会」とその中を主体的に生きる「人間」がそれぞれ抱える諸問題について情報収集したり他の生徒と議論したり，自らの経験を振り返ったりすることなどを通して深く考察し，自分なりの意見を適切な方法で多面的・多角的に表現する。
・現代の様々な「社会」やその中を主体的に生きる「人間」そのものについて広く関心を持ち，理想的な「社会」のあり方を主体的に構想したり，自らの在り方生き方を検証してよりよく生きることについての自覚を深めたりしようとしている。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・現代の諸課題を捉え考察し，選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解している。 ・諸資料から，倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	・現実社会の諸課題の解決に向けて，選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して，事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断している。 ・合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論している。	・よりよい社会の実現を視野に，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ・多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される，現代社会に生きる人間としての在り方生き方について自覚しようとしている。 ・公共的な空間に生き国民主権を担う公民として，自国を愛し，その平和と繁栄を図ることや，各国が相互に主権を尊重し，各国民が協力し合うことの大切さについて自覚しようとしている。

上に示す観点に基づいて，学習のまとまりごとに評価し，学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し，評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1章　公共的な空間をつくる私たち	第1節　青年期と自己形成 1　青年期の意義と課題 2　自我の確立と自己形成 第2節　人間としての自覚 1　生きることと考えること 2　世界の宗教	a:青年期の意義や，人間に関する先哲の思想や宗教について，教科書や資料集など様々な資料を読み解き，理解している。 b:自己形成の課題や，先哲の思想や宗教などが自分自身の生き方や考え方に与える影響に気づき，青年期を通じて成長する自らの在り方生き方を考察している。 c:青年期の特徴や，先哲の思想や宗教などを通して自分自身の生き方を検証し，参考にできることはないか主体的に追究したり，よりよく生きることについての自覚を深めたりしようとしている。	考査	考査 レポート	レポート 振り返りシート
	第3章　公共的な空間における基本原理	第1節　民主社会の基本原理 1　民主政治の始まりと基本的人権の保障 2　権力分立と法の支配 3　個人と社会のかかわり 第2節　日本社会の基本原理 1　日本国憲法と基本原理 2　平等権・自由権 3　社会権・参政権・請求権 4　新しい人権・人権の国際的広がり	a:法などの社会規範や，民主政治の理念，日本国憲法の三大原理とその内容について，教科書や資料集など様々な資料を読み解いたり，日常生活と関連づけたりして理解している。 b:民主政治における国家と個人のあり方や，基本的権利の保障と他者の権利との衝突と調和，日本の平和主義の変遷について，具体的な状況などを通して考察している。 c:現代における民主政治の実現状況や人権保障の具体的現実に関する情報を主体的に収集することなどを通して，民主政治の諸原理や日本国憲法の基本原理に基づく社会のあり方を自分なりに構想しようとしている。	考査	考査 レポート	レポート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

2学期	第4章　現代の民主政治と政治参加の意義	第1節　日本の政治機構 1　国会のしくみと役割 2　内閣のしくみと行政機構 3　日本の裁判制度と人権保障 4　司法参加の意義 第2節　政治参加と民主政治の課題 1　選挙と選挙制度 2　政党の役割 3　地方自治の現状と課題 4　世論の形成と現代民主政治の課題	a:日本国憲法の三権相互の関係やそれぞれの役割と課題，選挙や政党の仕組みと役割，地方自治の現状と課題について，教科書や資料集など様々な資料を読み解いたり，日常生活と関連づけたりして理解している。 b:日本の政治機構や，選挙制度と政党政治，地方自治のあり方などが抱える様々な課題を発見し，具体的事例などの情報を収集したり他の生徒と議論したりすることなどを通して解決する見通しが持てている。 c:様々な日本の政治問題について具体的事例などの情報収集や他の生徒との議論などを通して主権者としての自覚を高め，日本における政治や選挙などを身近な物事として捉えようとしている。	考査	考査 レポート	レポート 振り返りシート
	第5章　現代の経済社会と経済活動のあり方，第6章　国際社会の動向と日本の役割	第1節　経済のしくみと市場機構 1　経済生活のしくみ 第1節　国際政治の動向 1　国際社会と国際法 2　国際連合の成立と組織 3　国際連合の役割と課題 4　戦後の国際情勢	a:国際法や国際連合など国際機関の役割と課題，冷戦の成立と終結後の国際社会について，教科書や資料集など様々な資料を読み解き，理解している。 b:集団安全保障体制の意義と限界や，地域紛争など国際平和を実現するうえでの国際的課題，国際社会における日本の果たす役割などについて考察し，それらに対する自分の意見を構想したり説明したりしている。 c:様々な国際政治問題について具体的事例などの情報収集や他の生徒との議論などを通して身近な物事として捉え，それらを主体的に追究しようとしたり将来の展望をもとうとしたりしている。	考査	考査 レポート	レポート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

３学期	第６章　国際社会の動向と日本の役割	第2節　国際政治の課題と日本の役割 １　日本の安全保障と日米安全保障 ２　軍縮への動き ３　現代の紛争 ４　世界の人権問題と日本	a:めまぐるしく変化する安全保障政策，核開発や世界の人権問題について，教科書や資料集など様々な資料を読み解き，理解している。 b:戦争の惨禍を再び繰り返すことがないよう，国際社会における日本の果たす役割などについて考察し，自分の意見を構想したり説明したりしている。 c:様々な国際政治問題について具体的事例などの情報収集や他の生徒との議論などを通して身近な物事として捉え，それらを主体的に追究しようとしたり将来の展望をもとうとしたりしている。	考査	考査 レポート 口頭発表	レポート 口頭発表 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度